

第3期 R-GIRO研究プログラム

からだ活性化総合科学技術研究拠点 キックオフシンポジウム



12/9
Fri

時間：13:00-15:30

会場：立命館大学ローム記念館5F大会議室

《立命館大学びわこ・くさつキャンパス》

からだの活性化を科学し、 革新技術で健康寿命社会に 貢献する。

R-GIRO「からだ活性化総合科学技術研究拠点」では、人のからだを活性化することを目的に、重要ターゲットとして筋肉を取り上げ、筋肉を活性化する科学技術を総合的に展開する研究取り組みを開始しています。寝たきりやロコモーションの問題に直結する筋肉減弱症の予防の観点から、筋肉を活性化することは非常に重要なテーマとなっています。我々は既にメタボリックシンドロームの原因と位置づけられる加齢性筋肉減弱症(サルコペニア)の評価・介入方法において多くの成果を発表しています。平成26年度に文部科学省の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」に「微量筋組織解析のナノ・マイクロバイオ解析を特長とするサルコペニア研究拠点」が採択され、研究活動を本格化させてきました。R-GIRO「からだ活性化総合科学技術研究拠点」では、からだ活性化手法として、幹細胞、特に培養が容易で癌化しにくい間葉系幹細胞のドラッグデリバリー、培養細胞組織を用いた薬効評価に着目し、活動をスタートさせています。本シンポジウムでは、R-GIRO「からだ活性化総合科学技術研究拠点」が目指す研究分野の講師を学内外からお招きし、最新動向について情報を得る機会の提供を目的としています。

▶ 開会挨拶 / 13:00~13:10

立命館グローバル・イノベーション研究機構
副機構長 行正 秀文

▶ 拠点概要説明 / 13:10~13:25

拠点リーダー
立命館大学 理工学部 機械工学科 教授
小西 聡

▶ 基調講演 I / 13:25~14:25

「ヒトiPS細胞から肝細胞や
小腸上皮細胞への分化誘導技術の開発と
薬物動態・毒性研究への応用」

大阪大学大学院 薬学研究所 教授
水口 裕之

▶ 基調講演 II / 14:30~15:30

「サルコペニア予防を目的とした新たな
運動・栄養介入の開発」

拠点第3グループリーダー
立命館大学 スポーツ健康科学部 教授
藤田 聡

問合せ

FAX:077-561-2811 TEL:077-561-2802
MAIL:coor-019@st.ritsumei.ac.jp

下記項目をご記入の上、メールまたはファックスにてお申し込みください。

1. 参加者氏名 / 2. 所属・役職 / 3. お電話番号 / 4. メールアドレス
立命館大学 研究部 BKCリサーチオフィス 担当:武田・人見

